

## 世界臨床検査通信シリーズ-52

### ISO専門委員会の活動

# ISO/TC34(食品専門委員会)の活動状況について

一般財団法人日本醤油技術センター 理事長(元日本大学教授) 春見隆文

ISO/TC34(食品専門委員会)は国際標準化機構(ISO)に置かれた専門委員会のひとつで、「人と動物の食料分野<sup>\*1</sup>にかかわる第一次生産から消費までのフードチェーン全体を包括する事項及び、動物と植物の繁殖のための材料に関する事項の標準化」に関する事案をその任務としています。具体的には、作業範囲(Scope)にかかわる用語、サンプリング、分析方法、製品の仕様書、食品及び飼料の安全と品質マネジメント、食品の包装、貯蔵及び輸送に関する要求事項の標準化などを担当します。傘下には、表1のとおり、特定の食品または分析手法などを検討する分科委員会(SC、現在16委員会)が設置され、各々の所管ごとにISO国際規格の策定・改廃にかかわる検討を行っています。現在の幹事国はフランスで、投票義務のある積極的参加国(Pメンバー)76カ国、及び投票義務のないオブザーバー国(Oメンバー)64カ国から構成されています。

また、これらの分科委員会が所管しない分野は食品専門委員会本体が取り扱い、その直下に作業グループ(WG)を設置して個別具体的な検討を実施しています。現在活動中の案件は表2に示す7案件です。例えば、ISO/TC34/WG21では、2010年に発行されたISO26000(社会的責任に関する手引き)について、これを「フードチェーン内の組織に適用させる技術仕様書(TS)」とするための検討を行い、2019年にISO/TS26030:2019(仮訳:持続可能な発展と社会的責任—フードチェーン分野におけるISO26000:2010使用のためのガイダンス)として発行しました。また、ISO/TC34/WG23では、世界的に一定の広まりがみられる「菜食主義者又はヴィーガンに適した食品及び食品成分のための定義」などについて検討を行っています。さらに、ISO/TC34/WG24では、「標準物質の純度測定に適用できる水素原子核を用いた定量核磁気共鳴分光法」について検討中です。これは日本からの提案によるもので、精度の高い定量核磁気共鳴法(qNMR)を用いた食品添加物、残留農薬、機能性成分など、標準物質の純度測定に関する規格案です。

日本におけるISO/TC34の国内審議団体は、独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC)がその任に当たっています。ISO国際規格の策定・改廃に当たり日本の意見を適切に反映させるため、これらの規格にかかわる審議などを行う諮問機関として、学識経験者、行政機関、検査分析機関、産業界、消費者などの委員から構成される「ISO/TC34国内対策委員会」を設置し対応しています。

一方、ISO/TC34傘下の各SCにかかわる国内審議団体は、行政機関、分析機関などがその任に当たっており、各々が独立して活動しています。

食品に係る国際規格の策定・改廃にかかわる国際標準化への参加は、国内の法令・規格などとの整合性や、農林水産物・食品の輸出促進を見据えたわが国の政策的な取り組みにも影響することから、今後も積極的な取り組みが求められるところです。

表1 ISO/TC34に設置されている分科委員会<sup>\*2</sup>

	分科委員会の名称	幹事国
ISO/TC34/SC2	採油用種子及び果実	フランス
ISO/TC34/SC3	果実、野菜及びそれらの二次製品	トルコ
ISO/TC34/SC4	穀物及び豆類	中国
ISO/TC34/SC5	牛乳及び乳製品	オランダ
ISO/TC34/SC6	食肉、家禽、魚、卵及びそれらの製品	中国
ISO/TC34/SC7	スパイス、ハーブ及び香味調味料	インド
ISO/TC34/SC8	茶	イギリス
ISO/TC34/SC9	微生物	フランス
ISO/TC34/SC10	動物用飼料	イラン
ISO/TC34/SC11	動植物の油脂	イギリス
ISO/TC34/SC12	官能分析	アルゼンチン
ISO/TC34/SC15	コーヒー	コロンビア
ISO/TC34/SC16	分子生物指標の分析に係る横断的手法	アメリカ
ISO/TC34/SC17	食品安全のためのマネジメントシステム	デンマーク
ISO/TC34/SC18	ココア	オランダ
ISO/TC34/SC19	ミツバチ製品	中国

表2 ISO/TC34直下に設置されている作業グループ<sup>\*3</sup>

	作業グループの名称
ISO/TC34/WG14	ビタミン、カロテノイド及びその他の栄養成分
ISO/TC34/WG16	アニマルウェルフェア
ISO/TC34/WG20	アフラトキシン
ISO/TC34/WG21	持続可能な発展と社会的責任
ISO/TC34/WG22	天然抗菌剤
ISO/TC34/WG23	菜食主義者/ヴィーガンに適した食品
ISO/TC34/WG24	qNMR(定量核磁気共鳴分光法)

\*1: 製油(ISO/TC54所管)およびでん粉(同製品及び副産物を含む、ISO/TC93所管)は除外。

\*2: SC1は1983年に解散。SC13は2000年にSC14と統合、その後SC14は2015年にSC3と統合。

\*3: 現在活動中のWGのみ掲載。